

ふ じ の はなぶさ
藤乃英

令和7年度
10月号
R7.10.21

教 育 目 標
ふるさと平野を愛し、心豊かに
たくましく生きる子供の育成
～力いっぱい 心いっぱい～
大洲市立平野小学校

朝夕に少しずつ涼しさを感じ始め、やっと秋が感じられる今日この頃です。2学期は様々な活動が多いため、いこっ子たちはまだまだ熱く、元気に学びを深めています。それでは今月の活躍の様子を紹介いたします。

9月24日(水)～26日(金)修学旅行(6年)

今年度から9月実施となった修学旅行です。2泊3日の日程で、広島、山口、佐賀、熊本、大分方面を訪れました。とても楽しい思い出がたくさんできたようです。



「原爆資料館で考えたこと」

6年 牧野 友柊

一番印象に残ったことは、原爆を落とされるとどうなるかが具体的に分かったことです。理由は、インターネットで調べるときよりいろいろなことが展示物から分かったからです。大切だと思ったことは、いかに戦争について知り、戦争をやめるかということです。どうやって戦争をやめるかは、世界中の人々が命の重さ、戦争のおろかさ、恐ろしさを知ったらよいと思います。みんながもう一度戦争について学び合う機会を作って戦争のことをまずはいろいろと学ぶことが大切だと思いました。

「修学旅行の思い出」 6年 宮脇 杏莉

私は、修学旅行で心に残ったことが二つあります。一つ目はグリーンランドです。特にスピンマウスがとても楽しかったです。急カーブがたくさんあって、体が少し痛くなるほどでした。もう一つ心に残ったのは、アフリカンサファリです。私が飼っている猫以外の動物にえさをあげるのは初めてだったので、とても楽しみにしていました。ライオンがとてもかわいかったです。修学旅行は本当にいい思い出になりました。



修学旅行で思ったこと

6年 山本 大雅

「NIOは怖い」

僕は、NIOに乗ったことをとても後悔しています。なぜなら、NIOではどこにいるのかわからないし、足が棒に当たらないかがとても心配だったからです。でも、NIOから降りたときには、「もう終わったの?」というような複雑な気持ちになりました。そのあと、他のジェットコースターに乗っても全然怖くなくなっていました。NIOに乗ったことは、一つの思い出になりました。三日目の朝には、なぜかもう一度NIOに乗りたと思いました。

9月19日(金)稲刈り(3年)

5月に小雨が降る中、平地上分館の方々に御協力いただき田植えを行いました。その稲が大きく成長し、収穫の時期となりました。稲刈りが初めての児童も多く、とても貴重な経験となりました。

・ 稲刈りをしました。初めて稲刈りをしました。最初はむずかしかったです。でも、なれてきて楽しかったです。次は、餅つき体験をします。楽しみです。3年 菊池 望月

・ 稲刈り体験をしました。稲刈りが終わると、稲束に稲をかけました。地域の人といっしょにしました。また、生き物がたくさんいました。とても楽しい時間でした。3年 筒井 優斗

・ 最初は稲がかたくてかりにくかったです。なれてくると上手にかることができるようになりました。稲刈りが終わったら、約20日程度ほしておくと教えていただきました。餅つき体験もたのしみです。3年 兵頭 康介



9月29日(月)腹話術“きよし君”(4・5年)

腹話術から人形劇、オリジナルの踊りまで幅広い芸を披露する大洲人形劇サークル「へそ太郎」さんに来ていただきました。人形劇には人への思いやりや挑戦など、たくさんのメッセージが込められています。「夢も希望も生きてこそ」。命を大切にしてほしいというメッセージを子供たちはしっかりと受け止めたようです。

・ わたしが「おもしろい!」と思ったところは、おにの兄弟がかくれんぼしたところと、ふくわじゅつのきよし君の作文でした。かくれんぼは、二人がいっしょにかくれてしまって、おに役がいなかったのがおもしろかったです。きよし君は、おばあちゃんがおこったときに、いろいろとあぶないものが飛んできたのが笑えました。4年 菊池 芭月

・ わたしは、「ふくわじゅつ」が、一番心にのこりました。人形を持っている玉井さんは口を開けていないのに、人形がしゃべっていたからです。もう一つ、人形げきのお話も心にのこりました。緑色のひょうろくというおにが、何回も同じことを赤おにに聞き返すのがおもしろかったです。また、へそ太郎さんの人形げきを見たいです。4年 福山 詩

・ 今日見た人形げきには、おにの兄弟が出てきました。弟はひょうろくという名前です。一番おもしろかったところは、お兄ちゃんのおにが「かくれんぼしよう。」と言っているときに、二人ともいっしょにかくれてしまったところです。これでは、見つけてくれるおにがいないので、かくれんぼはできません。それから、感動したところもありました。水くみをしていた女の子のお母さんが病気で、おにの角がないと治らないと分かったときに、ひょうろくが自分の角をあげたところが感動しました。4年 山本 彩葉



10月6日(月)(株)アライ見学(5年)

5年生がふるさと学習で企業見学をしました。商品開発を進める中での企業努力や環境保全のための取組などたくさんのことを学びました。

・アライの工場見学に行きました。最初に荷物を置いて、白い服を着ました。それから工場の中に入りました。ぼくが一番おどろいたのは、そざいの95パーセントが空気で、残りの5パーセントが材料という箱です。持ってみたらすごく軽かったです。環境にやさしい取組をしているので、SDGsの表彰をされていることが、すごいと思いました。

5年 木村 颯太

・わたしがびっくりしたことが2つあります。1つ目は四角形以外にも、いろいろな形の箱を作っていることです。六角形や八角形の箱も作れるのだそうです。

2つ目は倉庫の中での作業が大変だということです。エアコンのない部屋で、すごく暑い中で箱を作っているそうです。この2つがすごいとおもいました。

5年 山中 里夏

・(株)アライに見学に行きました。1日に約8時間も仕事をしていると聞いてびっくりしました。おせち料理の箱を1日最大7000個も作るんだそうです。最後にみんなで写真をとりました。今までに弁当箱をたくさん作っているのがすごいと思いました。

5年 前田 きい



10月12日(日)いころまつり

台風の接近に伴い開催が危ぶまれましたが、今年も秋晴れの下、グラウンドで地区ごとに獅子や神輿を披露することができました。たくさんの地域の方にも見に来ていただき、ありがとうございました。その後、子供たちの元気を届けに各地域へ出かけていきました。なお、今回いただいたお志は、合計210,500円となりました。来年度の遠足など、学校行事に使わせていただきます。本当にありがとうございました。

・わたしは、いころまつりをしました。さいしょ、どきどきしたけれど、たのしかったです。

1年 石居 季歩

・おまつりは、わくわくしました。どんなところがわくわくしたかという、「ワッショイワッショイ」のところがわくわくしました。

1年 児玉 惟

・きょうは、小がっこうにはじめてのいころまつりでした。たくさんあるいてつかれたけれど、みんなでがんばりました。

1年 斎藤 琉偉

・きょうは、いころまつりがありました。「わっしょいわっしょい」がたのしかったです。ししまいがこわかったけれど、おもしろかったです。

1年 宮川 大成

・今日は、いころまつりでさとしをしました。大だいこをたたきました。とてもうれしかったです。自分の家で大だいこをたたきました。とてもうれしかったです。

2年 佐藤 瑠

・今日、いころまつりがありました。さいごまでがんばったけれど、とちゅうできんちょうしました。きんちょうしたけれどがんばっておうちをまわりました。みんなみてくれてうれしかったです。

2年 細川 美月

・「いよいよこの時が来た。」僕は平野小学校で、代表として大太鼓を任された。正直不安も大きかった。第一大太鼓はあまり慣れていない踊りもそこまで上達していない。何より、こんな大勢の人の前で叩くのはとても緊張した。それでも、みんなに見てもらうために、必死でこれまでの成果を最大限に発揮したいと思って叩いた。学校でみんなと話しているときに、「良かったよ」と言ってもらえるとうれしかった。来月は大洲まつりで、いころまつりの何倍もの人が見ている中、今よりも難しい曲を叩くことになる。だから、獅子にもさらに力を入れて、練習を頑張っていきたい。

6年 田岡 昂

